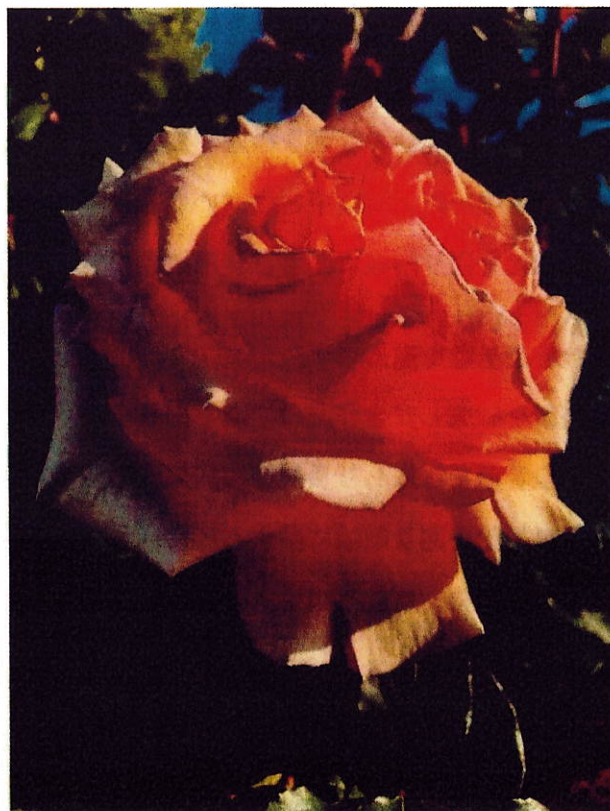


株式会社 アイメック

2022年度環境経営レポート

(対象期間：2022年4月～2023年3月)



作成日：2023年6月8日

修正日：

(株) アイメック

環境経営方針

弊社は昭和51年創立以来お客様の生産設備並びに空調設備の施工・保守及び自動制御システムの構築を通して社名“IMEC”

*** Industrial Maintenance & Energy Cordination ***

の示のように工場設備のメンテナンス及びエネルギーのコーディネーターとしてムダを省き効率的な工場環境を提供すべく努力して参りました。

また“i-s y s t e m”の名称でエネルギー消費・運転データ等の収集と可視化に対応したシステムを開発し、予知保全の推進を図り一層の省エネ・省資源化を進め環境活動をメインとした企業として成長を目指すものとします。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境配慮型製品を提案・提供します。
3. 電力、車燃料、灯油、廃油の管理を徹底し二酸化炭素排出量の削減を図ります。
4. 回収廃油の貯蔵管理を行い再利用を推進いたします。
5. 水使用量の可視化を図り削減に関する日常活動の管理を行います。
6. フロンガスの漏えい防止・再生・再利用を推進し地球温暖化防止の活動を行い一般市民への啓蒙活動を進めます。
7. 作業工具の整備を徹底し安全作業の推進を図ります。
8. 現場作業の安全管理を徹底し社員並びに関係者の安全を図ります。
9. 電力使用量の可視化を図り削減に関する日常活動の管理を行います。
10. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：2013年8月26日

改定日：2019年7月10日

代表取締役

石川勝秀

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 アイメック
代表取締役 石川 勝秀

(2) 所在地

御坂営業所 山梨県笛吹市御坂町成田2739-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 吉岡 利祐 TEL : 055-262-7711
担当者 技術課 真道 晃司 TEL : 055-262-7711

(4) 事業内容

自動制御機器等設計・製作 冷暖房産業空調設備等設計・施工・保守

(5) 事業の規模

製品出荷額 4.102 億円

	御坂営業所				
従業員	14				
延べ床面積	989.9㎡				

(6) 事業年度

4月～3月

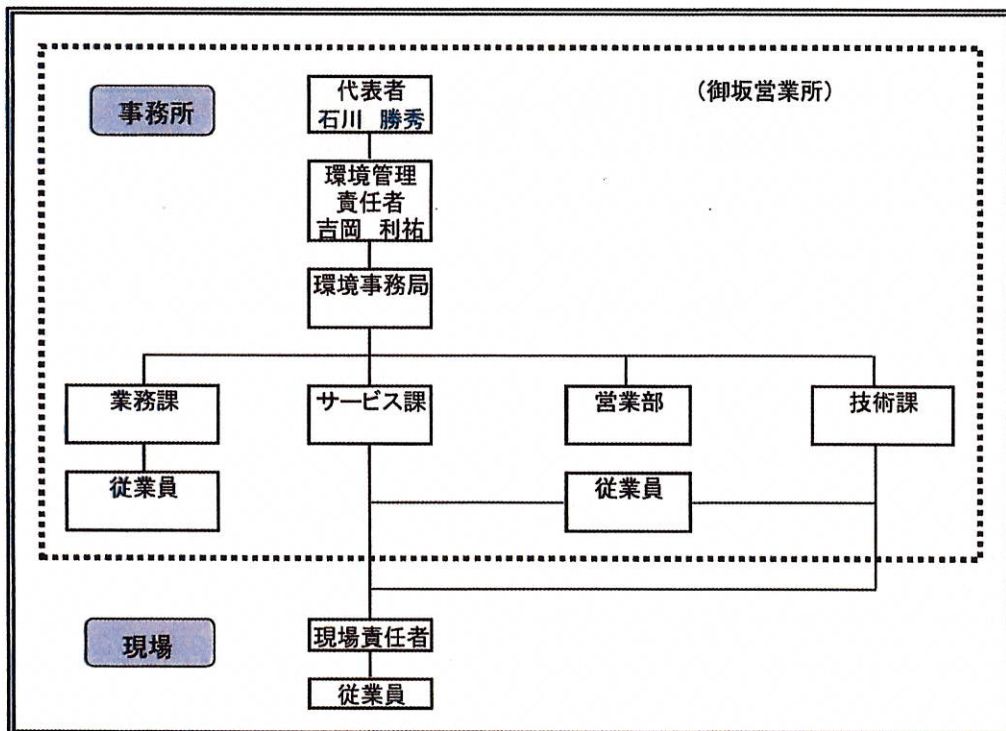
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 アイメック
御坂営業所

対象外： 該当なし

活動： 自動制御機器等設計・製作 冷暖房産業空調設備等設計・施工・保守

□株式会社アイメック実施体制図



〇株式会社アイメック役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境経営活動計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価 ・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	52198.06	52196.26	50979.45	58674.92	60411.86
廃棄物排出量	トン	3.14	13.45	2.36	6.64	10.29
一般廃棄物	トン	0.57	1.06	0.57	0.77	0.51
産業廃棄物排出量	トン	2.57	12.39	1.79	5.87	9.78
総排水量	m ³	166	159	180	198	210

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.452 kg-CO₂/kWh

□環境経営目標及びその実績

項 目		基準年 2020年	2022年 上段：通年		2023年	2024年	2025年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
電力使用量の削減	kwh	11938.00	11579.86	15064.00	11579.86	11579.86	11579.86
	基準年比		97%	126%	97%	97%	97%
自動車燃料消費量の 削減(ガソリン)	ℓ	4,125.61	4,001.84	4,469.68	4,335.59	4,335.59	4,335.59
	基準年比		97%	108%	97%	97%	97%
自動車燃料消費量の 削減(軽油)	ℓ	11,740.81	11,388.59	15,269.66	14,811.57	14,811.57	14,811.57
	基準年比		97%	130%	97%	97%	97%
灯油消費量の削減	ℓ	2,047.00	1,985.59	1,409.00	1,985.59	1,985.59	1,985.59
	基準年比		97%	69%	97%	97%	97%
一般廃棄物の削減	kg	610.10	597.90	508.50	597.90	597.90	597.90
	基準年比		98%	83%	98%	98%	98%
産業廃棄物の削減	kg	1,791.40	1,737.66	9,780.00	1,737.66	1,737.66	1,737.66
	基準年比		97%	546%	97%	97%	97%
節水	m ³	180.00	174.60	210.00	174.60	174.60	174.60
	基準年比		97%	117%	97%	97%	97%
製品への環境配慮	万円	3,877.43	3,993.75	7,109.30	3,994	3,994	3,994
	基準年比		103%	183%	103%	103%	103%
フロンガスの回収適 正処理の推進	kg	404.90	417.05	609.90	417.05	417.05	417.05
	基準年比		103%	151%	103%	103%	103%

□環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	○	継続	電力に関する取り組みは、冷蔵庫を節電タイプに更新し電力削減する。空調設定温度管理を変更しないよう徹底する。
・使用していない場所の照明を、こまめに消す	○	継続	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)			
数値目標	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・車の荷物を整理整頓し、軽くする	○	継続	ガソリン車の使用が1台増えた、次年度は通常に戻る予定。
・燃費測定をして、改善対策を練る	○	継続	
・エリア別営業活動の見直し	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)			
数値目標	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・車の荷物を整理整頓し、軽くする	○	継続	軽油車が2台増えた。軽油に関する取り組みとして、走行距離が多く燃費の悪い車の更新を行なう。無駄な移動の無いよう、事前打合せを徹底する。
・燃費測定をして、改善対策を練る	○	継続	
・エリア別営業活動の見直し	○	継続	
灯油による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・暖房温度の適正化室温20℃	○	継続	灯油消費は少ない。
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・分別の徹底	○	継続	分別できている。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・廃紙の再利用	○	継続	
産業廃棄物(廃プラ)の削減			
数値目標	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・分別の徹底	○	継続	受注した仕事に産廃処理を含む工事が多い為、排出量が増加した。分別を徹底します。
・不要在庫の廃棄物化の削減	○	継続	
節水			
数値目標	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・水道水を流したまま使用せず、溜めて使う	○	継続	毎月水洗いする清掃業務があり、水道使用量が増加した。漏水の有無を確認しましたが、漏れは無し。空気清浄加湿器が影響している。節水を徹底する。
製品での環境配慮			
数値目標	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・エコ商品提供	—	—	機器販売の際、省エネ機器を推進します。
・再生資源の利用	—	—	
・省エネ機器の採用	○	継続	
社会貢献 (フロンガス回収の推進)			
数値目標	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直し	
・フロンガスの回収、再利用	○	継続	フロンガスの回収を推進します。
・工具整備、現場作業の安全管理	○	継続	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。**

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
浄化槽法	定期検査
フロン類排出抑制法	回収充填証明書の発行、適正処理。自社エアコンの簡易点検。
高圧ガス保安法	容器置場の技術上の基準に従う。

環境関連法規制などの遵守について

関係当局からの違反の指摘を含め、問題はありませんでした。また、関係者との訴訟もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の活動を通して、PDCAを確実に実施し、

仕事そのものが、環境負荷低減に直結する活動を進めること。

環境経営活動の紹介

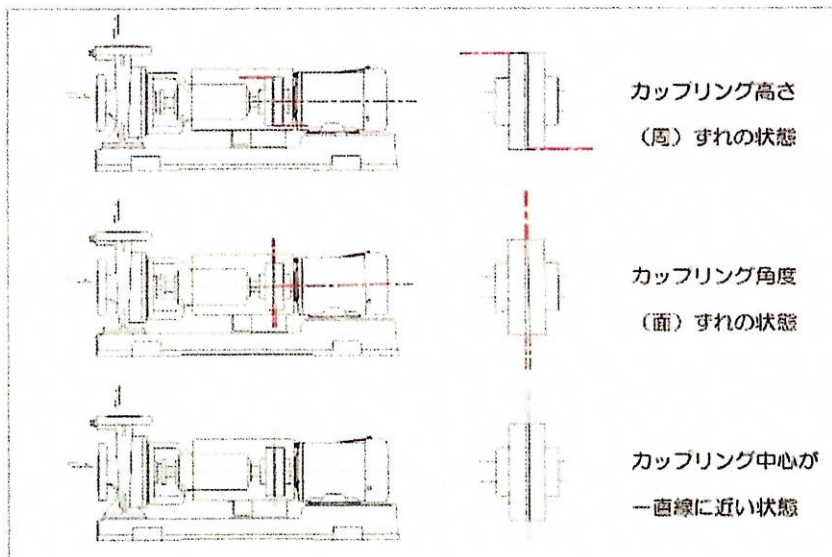
設備メンテナンスのご紹介

芯出しの重要性

ポンプや送風機といった回転機械で、カップリングの芯出しは、重要な作業です。
アライメントが悪いと振動が発生し、突然の設備停止に繋がります。

芯出しとは何か

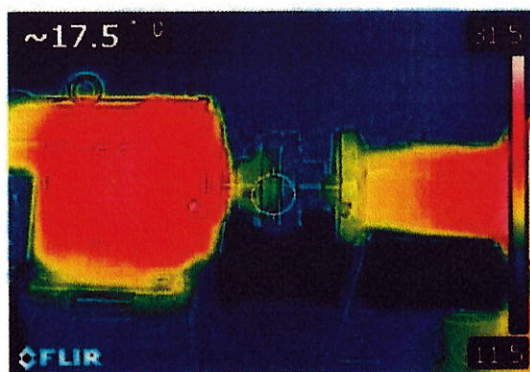
機械の回転軸中心が、一直線になるように機械を配置することです。



芯出しの機械に及ぼす影響

芯ずれは、軸受け（ベアリング）や軸シール（メカニカルシール又はグランドパッキン）の寿命を短くします。

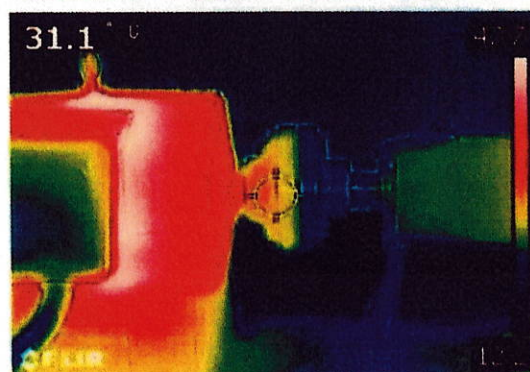
芯ずれは、カップリング付近のサーモグラフィ写真で、良好な芯出しでは見られない発熱が、カップリング及び軸受け付近で見られます。



芯出しが良好な温度状態

カップリング付近の温度、17.5°C

この画像内の最高温度、31.5°C



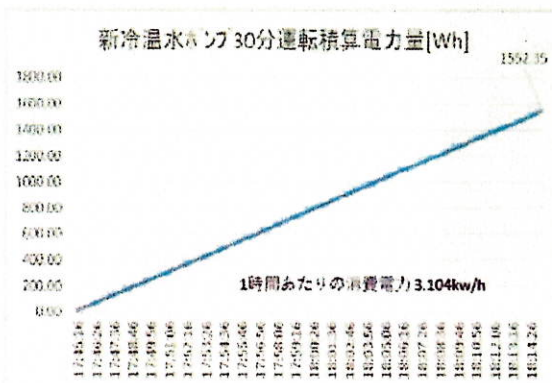
芯出しがずれた温度状態

カップリング付近の温度、31.1°C

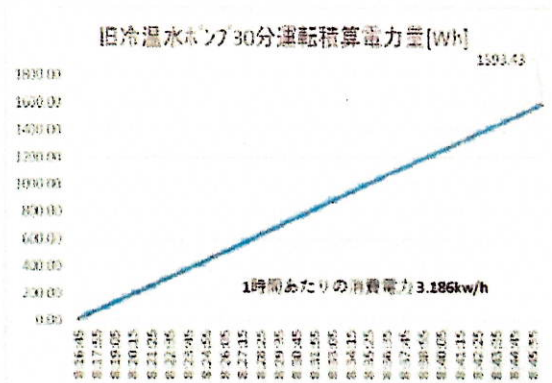
この画像内の最高温度、47.7°C

芯ずれは、電力量を増加させる。

芯ずれはカップリングや軸受けを発熱させ摩耗させている、このエネルギーは、モーターから得ているため電力量が増加します。



芯出しが良好な、3.7kwモーターの有効消費電力量。



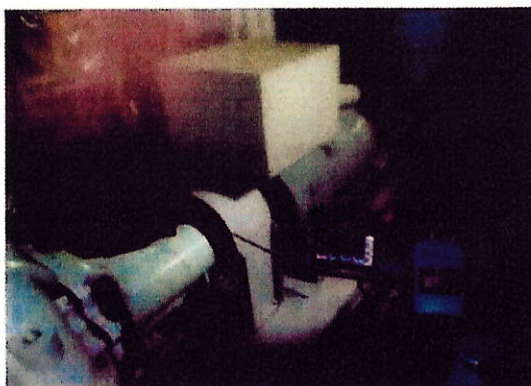
芯出しにずれがある、3.7kwモーターの有効消費電力量。



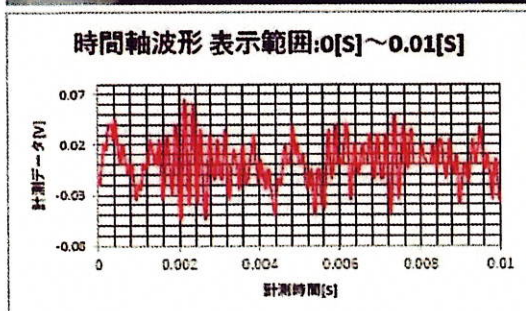
カップリングの箇所無調整。



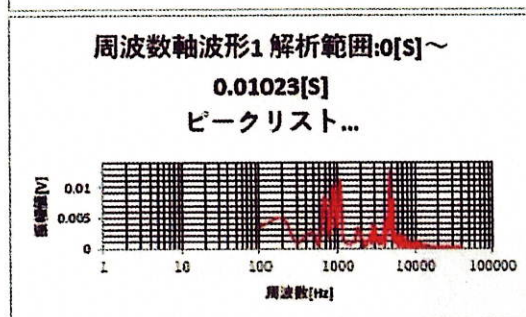
カップリングの外周ずれ調整。
モーター固定ボルトの締め付けトルク管理。



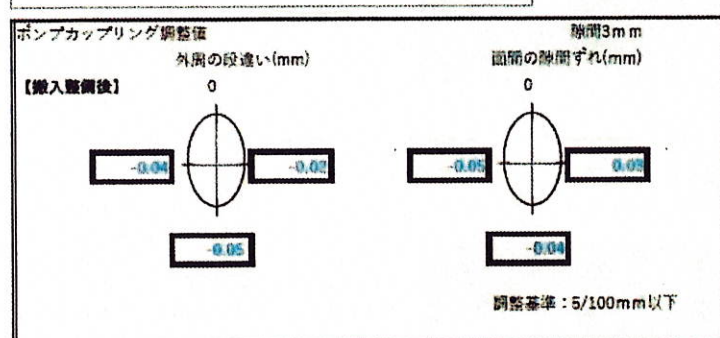
ポンプ及びモーターの振動データ採取。



振動時間軸波形。



振動周波数波形。



ポンプカップリングの
面、面ずれを5/100以下に
調整します。

芯出しのすすめ

芯出しは、経験と勘ではなく、明確な数値管理があって寿命が長く、故障しない設備を維持することが出来ます。これまで、建設時からメンテナンスに携わってきた経験豊かなベテランの存在がありました。しかし、メンテナンス要員は減少し、必要な教育や技術の伝承が困難になっております。また、長期連続運転している設備の、突然の故障による損失は莫大なものになるので、設備の信頼性の要求は高くなっています。

顕在化していないから問題がないのではなく、潜在している問題を解決すべく

オーバーホール後の調整、データ採取により、より故障しないメンテナンスをお手伝いさせていただきます。